

## 「科学技術の状況に係る総合的意識調査(NISTEP 定点調査)」にかかるQ&A

2016/10/27 更新

---

調査期間中に頂いた調査にかかわるQ&Aを適時掲載していきます。

---

---

### Q. (全般) 本調査のねらいは何ですか。

---

A. 「科学技術の状況に係る総合的意識調査(以下、NISTEP 定点調査)」は、基礎研究の多様な  
通常の研究開発統計からは把握しにくい、日本の科学技術とイノベーションの状況について、産  
学官の研究者や有識者への意識調査から明らかにする調査です。これまでに2期10年間実施し  
てきました。

第5期科学技術基本計画(2016～20年度)では、客観的根拠に基づいて政策を推進するため、  
定量指標及び目標値が設定されました。NISTEP 定点調査の結果は、定量データだけでは把握が  
難しい研究現場における状況変化を示すことから、基本計画の進捗状況の把握や次期基本計画  
の策定において、これまで以上に重要な役割を果たすと考えています。

本調査の特徴は、毎年、同一の回答者に、同一の調査票を用いて意識調査を実施する点です。  
今回の調査は第5期基本計画期間中(2016～20年度)の5年間にわたって実施します。

2年目(毎年秋ごろ実施予定)からは、ご本人の前回の回答結果をお示しし、前回と異なる回答  
の場合はその変更理由を、前回と同じ回答であっても補足などがある場合には意見等をご記入頂  
きます。これにより、第5期基本計画期間における、我が国における科学技術とイノベーションの状  
況の変化とその変化の理由を明らかにしていきます。

Q. (調査票) 1～6段階で回答する質問について、1～6はどのような基準で選ばれば良いですか。

A. 下の質問の場合、若手研究者(博士課程学生は除く)に自立と活躍の機会を与えるための環境の整備が十分とお考えの場合は「6」に、不十分とお考えの場合は「1」に印を付けて下さい。ただし、十分や不十分にも度合いがありますので、それを考慮して「1」～「6」の間で、ご回答下さい。  
なお、回答に際しての前提条件は、質問や回答者グループによって変化します。

若手研究者(39歳くらいまでのポストドクター、研究員、助教、准教授など、博士課程学生は除く)の状況  
XXXにおける状況をお答え下さい。

問1	若手研究者(博士課程学生は除く)に自立と活躍の機会を与えるための環境の整備は十分だと思いますか。	分 か ら な い	<input type="radio"/>	不 十 分	1	2	3	4	5	6	十 分
----	--	-----------------------	-----------------------	-------------	---	---	---	---	---	---	--------

Q. (成果の公表方法について) 調査結果では、調査対象者の身元や所属先もコメント等と一緒に公表されるのでしょうか？

A. 調査にお答え頂いた方のお名前と所属については、報告書の最後に一覧として掲載する予定です。個別のコメントについては、属性情報と共に示し、誰のコメントかが特定出来ないようにします。

以下に報告書におけるコメントの掲載方法の例を示します。例に示したように、コメントの後に回答者の属性を示します。

若手の育成の方法に対しては、様々な意見がある。単に独立させるだけでは、十分な能力が発揮できない若手研究者も多い。集団の中で「みがく」事も重要であり、一面的な施策は危ない。両者の総合的なバランスが重要である。もう一点は、若手が自分の研究を提案し進める力を、指導者が十分に引き出す努力も必要である。(大学, 第1G, 理学, 主任研究員、准教授クラス, 男性)